



平成29年8月3日

各 位

会 社 名 株式会社ワイヤレスゲート
 代表者名 代表取締役CEO 池田 武弘
 (コード番号: 9419)
 問合せ先 取締役 CFO
 執行役員管理本部長 小島 聡
 (TEL. 03-6433-2045)

平成29年12月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年2月13日に公表いたしました平成29年12月期の第2四半期連結累計期間の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成29年8月3日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年12月期通期連結業績予想について、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成29年12月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績との差異（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,305	百万円 268	百万円 188	百万円 123	円 銭 11.97
実績値 (B)	6,030	437	358	201	19.53
増減額 (B-A)	△ 274	168	170	78	
増減率 (%)	△4.4	62.8	90.3	63.5	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年12月期第2四半期)	6,129	637	535	330	32.13

平成29年12月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績との差異の理由

売上高については、ワイヤレス・ブロードバンド事業（BtoC事業）で、計画に織り込んでいた新たなSIMサービスの投入を見送ったこと等から、当初の計画をやや下回って推移いたしました。ワイヤレス・ビジネスドメイン事業（BtoB事業）は、概ね順調に推移しております。

利益面については、子会社LTE-Xにおいて順調に事業を進捗させつつもコストを想定よりも抑えられたこと、「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」サービスにおいて想定よりも利益率が高くなっていること等から、当初の計画を大幅に上回って推移いたしました。

2. 平成29年12月期通期連結業績予想の修正（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,097	百万円 650	百万円 513	百万円 336	円 銭 32.68
今回修正予想 (B)	13,097	819	683	415	40.07
増減額 (B-A)	—	168	170	78	
増減率 (%)	—	26.0	33.1	23.3	
(ご参考) 前期実績 (平成28年12月期)	12,239	1,250	1,098	693	67.57

平成29年12月期通期連結業績予想の修正の理由

売上高につきましては期初に計画した数字を据え置きとしております。

下期においては、新たなSIMサービスの投入見送りに伴う影響はあるものの、ワイヤレス・ビジネスドメイン事業（BtoB事業）が引き続き順調に推移し、また、ワイヤレス・ブロードバンド事業（BtoC事業）についても、主力の「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」サービスを軸に堅調に推移すると判断しております。

ワイヤレス・ビジネスドメイン事業（BtoB事業）については、前上期の売上高が66,439千円であったところが、当上期の売上高は240,571千円（262.1%増）と大幅に売上高を拡大しております。子会社L T E - Xに関しては4月に検証キットの販売を開始する等順調に事業を進捗させており、下期以降も更なる売上拡大に向け努めてまいります。

ワイヤレス・ブロードバンド事業（BtoC事業）については、主力の「ワイヤレスゲートWi-Fi+WiMAX」の会員数は堅調に増加しており、今後、新規会員の更なる獲得・既存顧客の退会防止・販売単価向上に向けた追加施策を実施していくことで、売上の拡大に努めてまいります。

利益については、下期の見通しは据え置くものの、上期までの過達分を踏まえ、営業利益・経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の予想値を上記のとおり修正いたします。

売上の拡大を図りつつ、必要なコストと不要なコストを見極めながら、利益拡大に取り組んでまいります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上